

先取り★マーケットレビュー

今回のテーマ：2020年の半導体関連銘柄

2019年12月11日（水）

楽天証券経済研究所

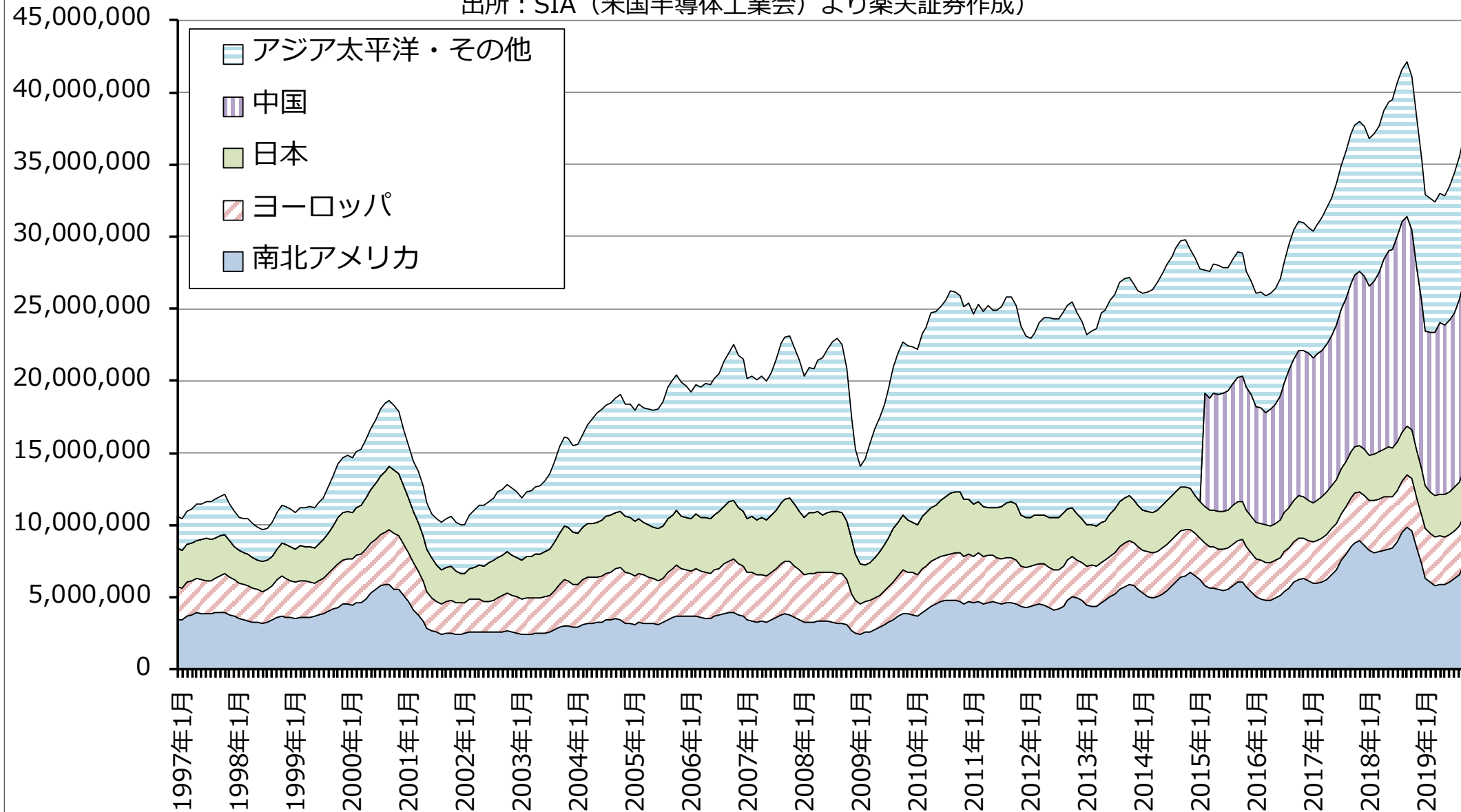
チーフアナリスト

今中 能夫

世界半導体出荷金額（3カ月移動平均）

（単位：1,000ドル、注：2015年3月から「アジア太平洋・その他」から「中国」を分離、

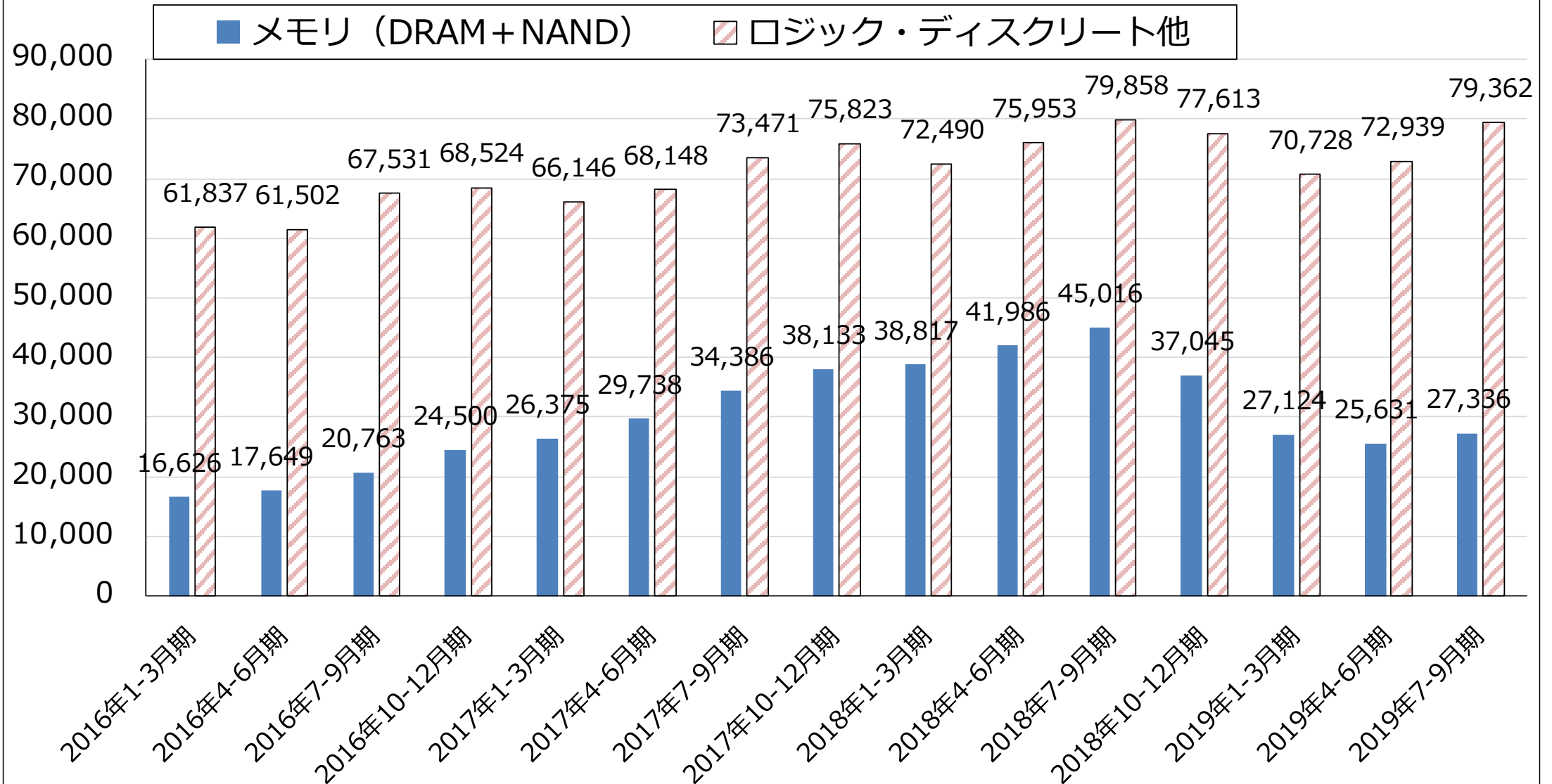
出所：SIA（米国半導体工業会）より楽天証券作成）



半導体デバイス市場の中身

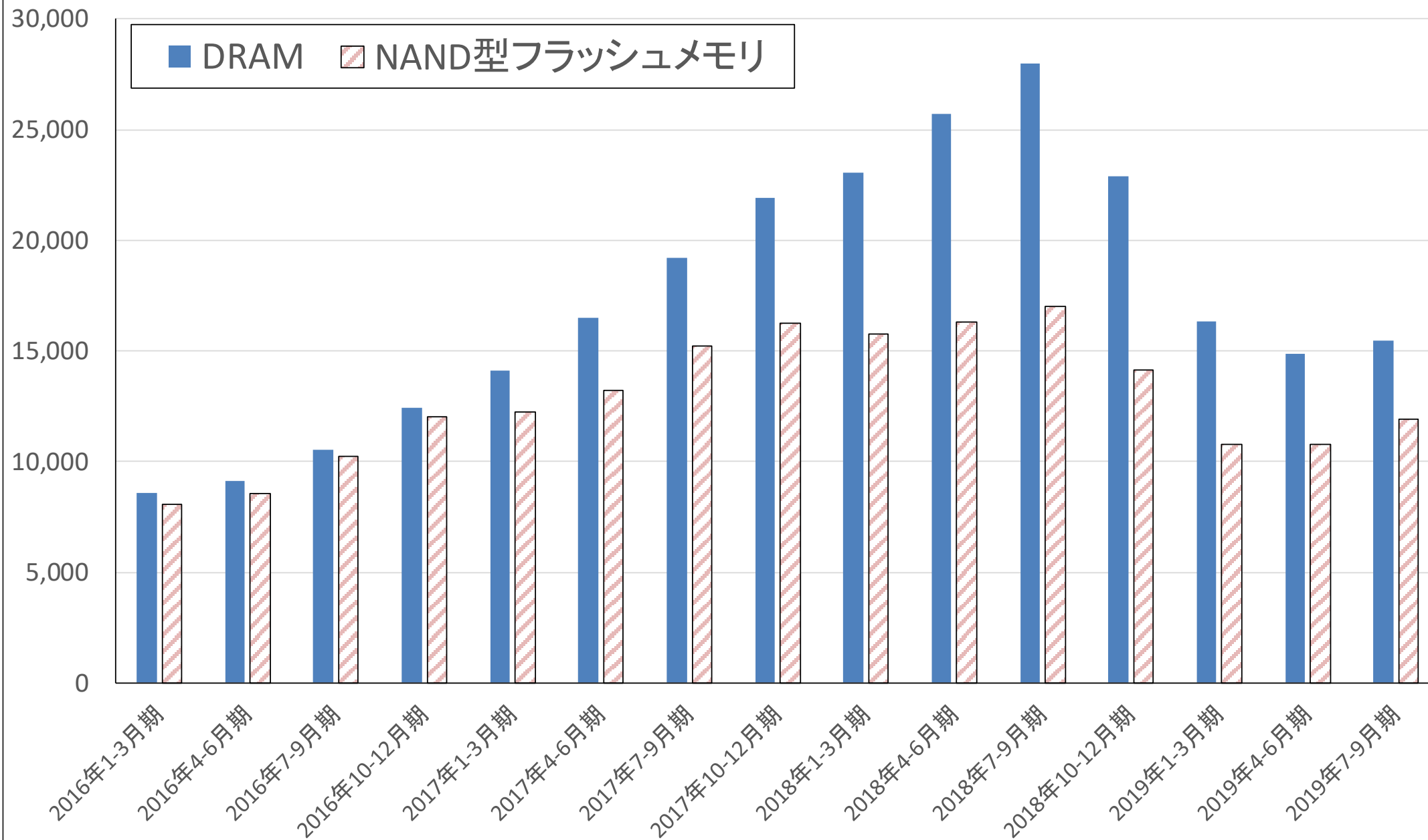
(単位：100万ドル、出所：メモリ（DRAM+NAND）販売金額はTRENDFORCE、ロジック・ディスク

リート他は世界半導体出荷金額（単月、WSTS）からメモリ販売金額を差し引いたもの)



DRAM、NAND販売金額

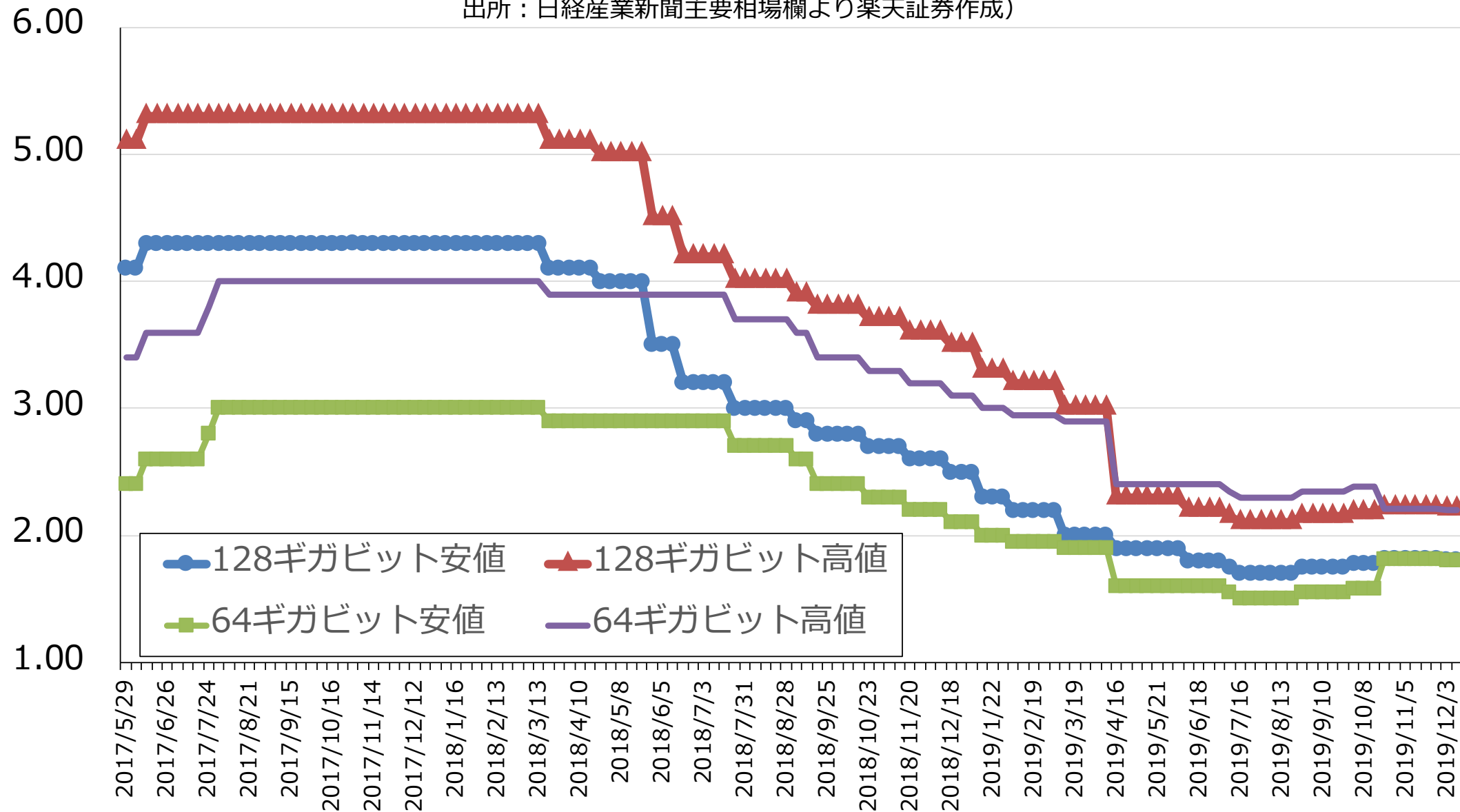
(単位: 100万ドル、出所: TORENDFORCEより楽天証券作成)



NAND型フラッシュメモリの市況（2017年5月29日から）

（単位：ドル、国内大口需要家渡し、TLC（注：2017年5月30日付で従来の多値品がTLCに変更された）、

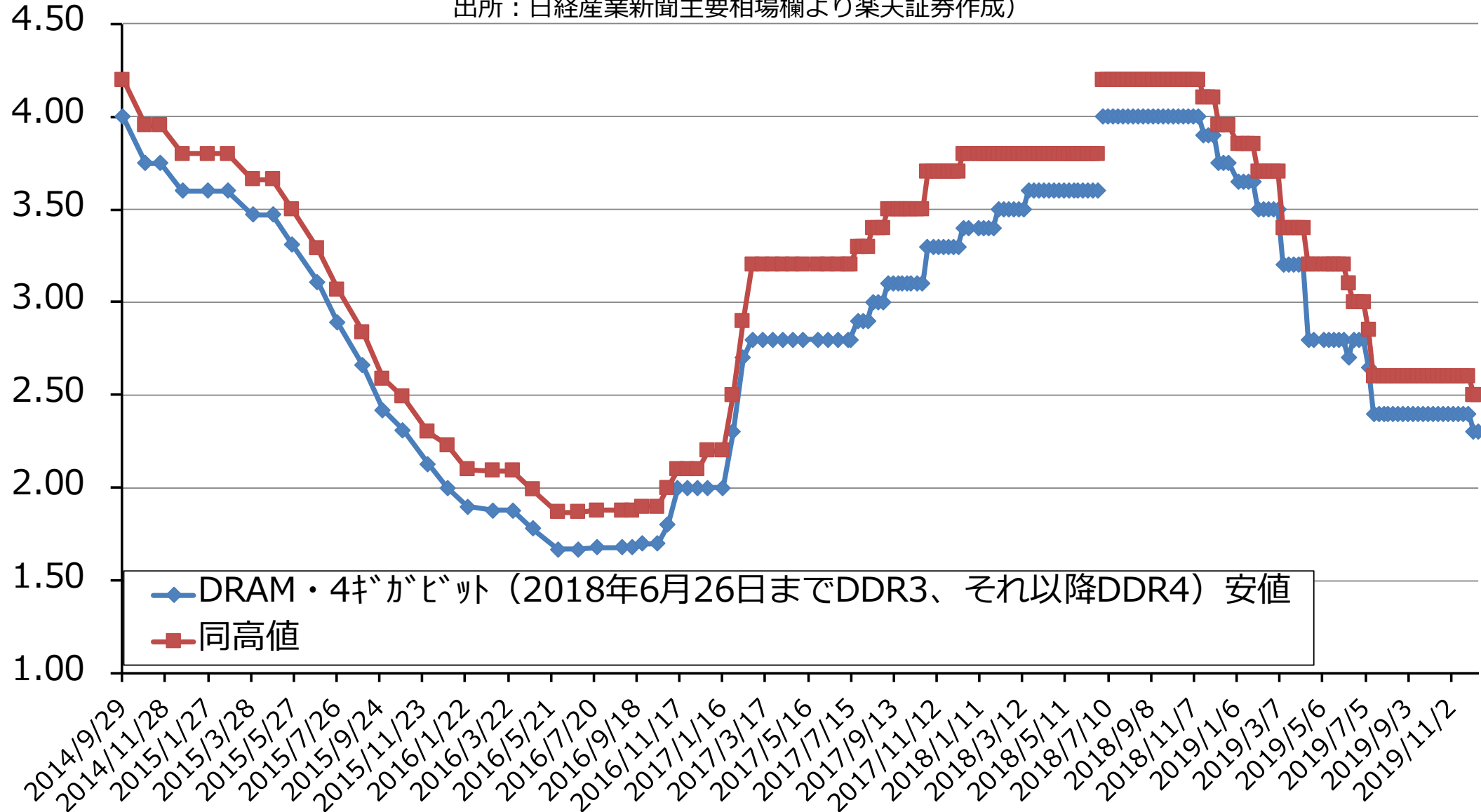
出所：日経産業新聞主要相場欄より楽天証券作成）



DRAMの市況

(単位：ドル、国内大口需要家渡し、4ギガビット (2018年6月26日までDDR3、それ以降はDDR4)、

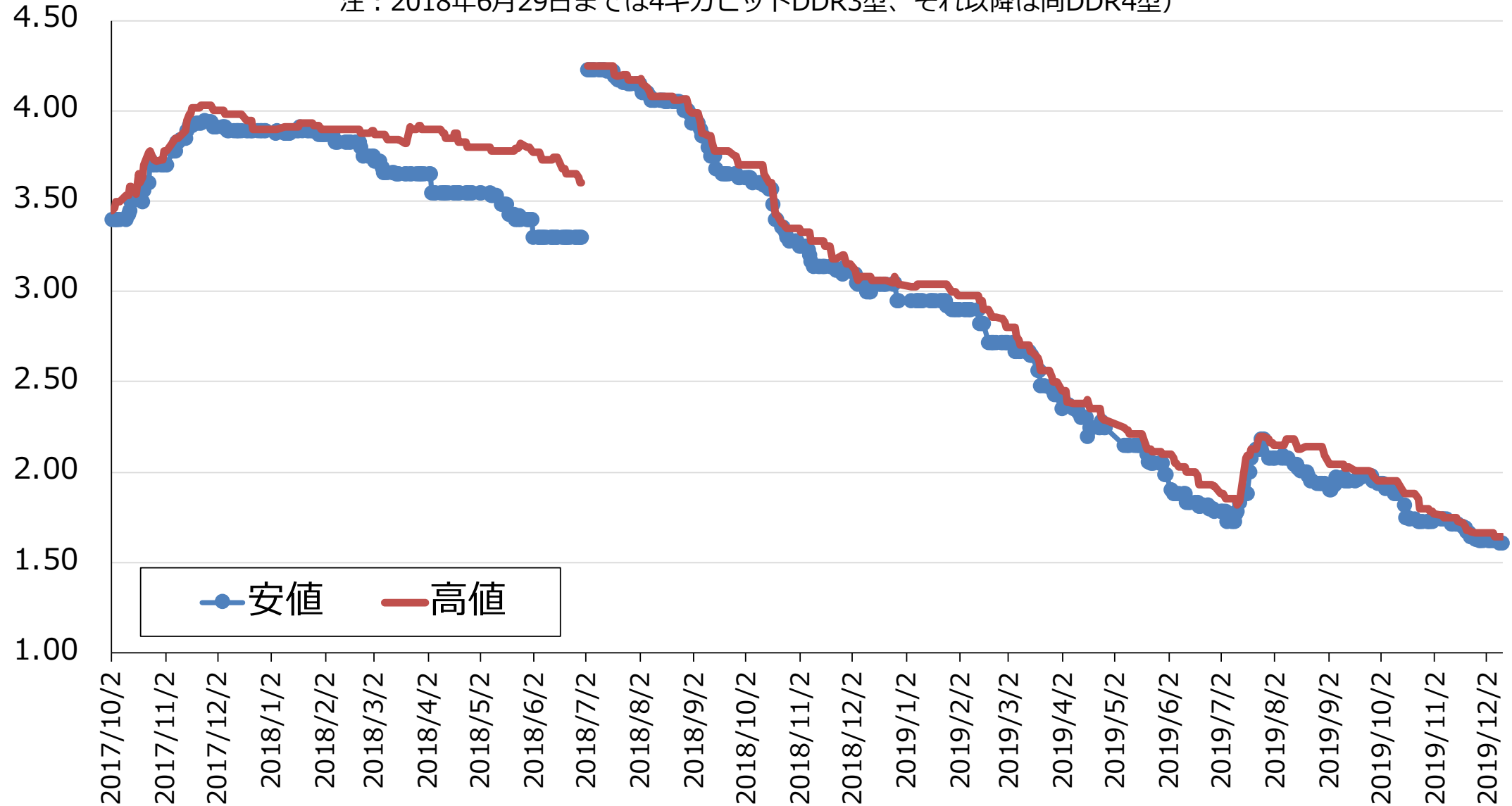
出所：日経産業新聞主要相場欄より楽天証券作成)



DRAMのスポット市況

(単位：ドル、小口渡し、現金、出所：日本経済新聞主要相場欄より楽天証券作成、

注：2018年6月29日までは4ギガビットDDR3型、それ以降は同DDR4型)



日本製、北米製半導体製造装置の販売高（3カ月移動平均）

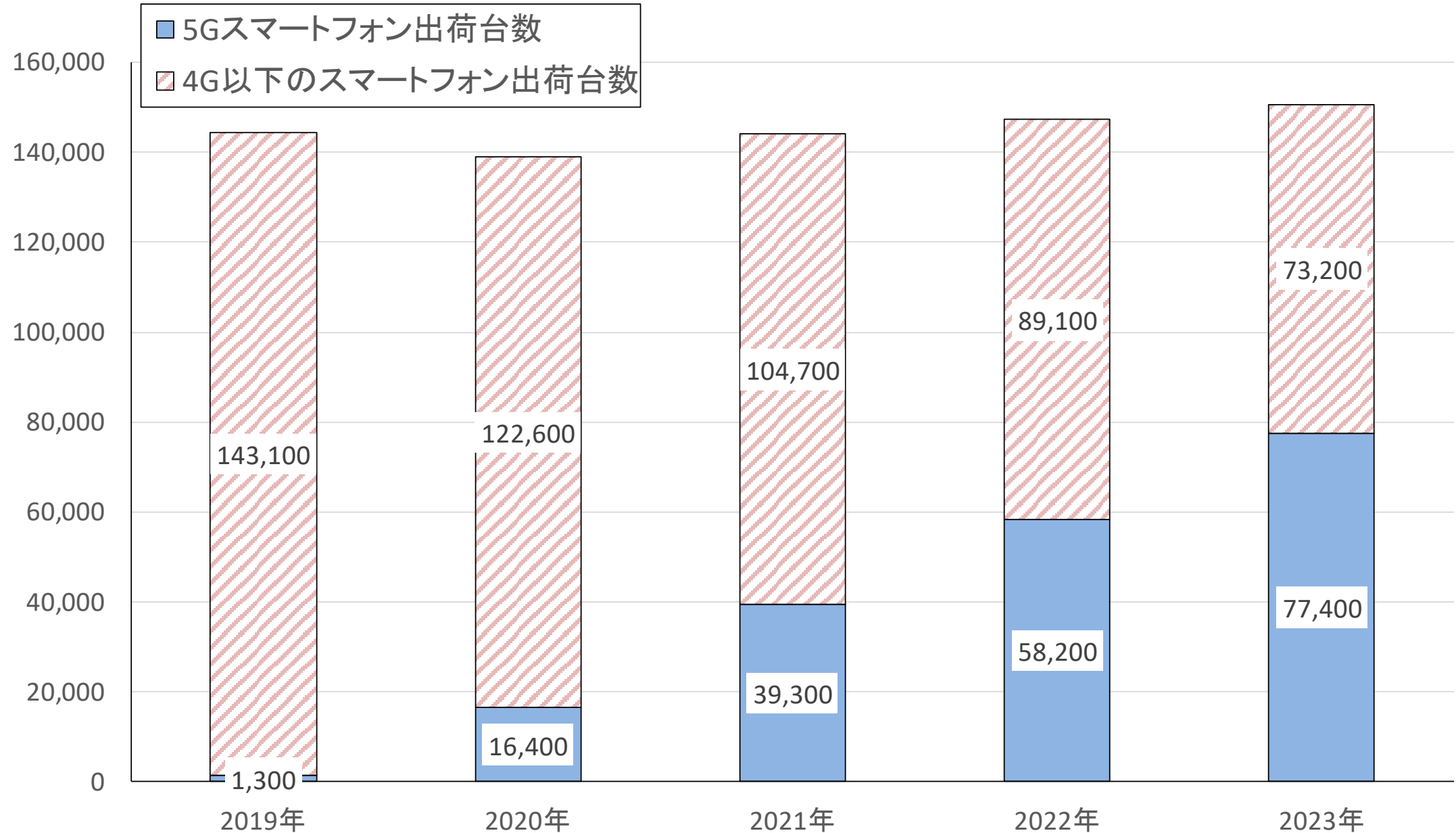
	日本製	前年比	前月比	北米製	前年比	前月比
2018年7月	188,843	16.8%	5.6%	2,377.9	4.8%	-4.3%
2018年8月	181,450	11.9%	-3.9%	2,236.8	2.5%	-5.9%
2018年9月	214,089	34.7%	18.0%	2,078.6	1.2%	-7.1%
2018年10月	200,113	29.5%	-6.5%	2,029.2	0.5%	-2.4%
2018年11月	204,672	33.4%	2.3%	1,943.6	-5.3%	-4.2%
2018年12月	168,098	8.1%	-17.9%	2,104.0	-12.3%	8.3%
2019年1月	164,993	3.3%	-1.8%	1,896.3	-20.0%	-9.9%
2019年2月	150,651	-11.6%	-8.7%	1,868.1	-22.7%	-1.5%
2019年3月	188,209	-11.9%	24.9%	1,825.3	-24.9%	-2.3%
2019年4月	178,729	-18.1%	-5.0%	1,922.0	-28.5%	5.3%
2019年5月	177,021	-20.2%	-1.0%	2,065.2	-23.6%	7.5%
2019年6月	137,639	-23.1%	-22.2%	2,026.1	-18.4%	-1.9%
2019年7月	153,318	-18.8%	11.4%	2,031.9	-14.6%	0.3%
2019年8月	160,662	-11.5%	4.8%	2,001.8	-10.5%	-1.5%
2019年9月	178,136	-16.8%	10.9%	1,959.1	-5.7%	-2.1%
2019年10月	180,690	-9.7%	1.4%	2,109.1	3.9%	7.7%

単位：日本製は百万円、北米製は百万ドル、%

出所：日本半導体製造装置協会、SEMIより楽天証券作成

世界のスマートフォン出荷台数予測

(単位:万台、出所:CNETの2019年7月4日付け記事をもとに楽天証券計算(元出所はCanalys))



iPhoneのカメラ画素数、CPU、通信の技術進歩

新型iPhone発売年	型式	背面カメラ画素数	前面カメラ画素数	CPU名	線幅	CPU製造メーカー	通信
2013年	iPhone5s	800万画素	120万画素	A7	28ナノ	サムスン	
2014年	iPhone6、6Plus	800万画素	120万画素	A8	20ナノ	TSMC	
2015年	iPhone6s、6sPlus	1200万画素	500万画素	A9	14ナノ、16ナノ	サムスン（14ナノ）、 TSMC（16ナノ）	
2016年	iPhone7、7Plus	1200万画素	700万画素	A10 Fusion	16ナノ	TSMC	
2017年	iPhone8、8Plus、X	1200万画素	700万画素	A11 Bionic	10ナノ	TSMC	
2018年	iPhoneXS、XS MAX、XR	1200万画素	700万画素	A12 Bionic	7ナノ	TSMC	
2019年	iPhone11、11 Pro、 11 Pro Max	1200万画素	1200万画素	A13 Bionic	7ナノ	TSMC	
2020年	iPhone12？				5ナノ	TSMC	5G対応？
2021年	iPhone13？				5ナノ	TSMC	
2022年	iPhone14？				3ナノ	TSMC	

出所：各種報道より楽天証券作成。

- 前回の半導体ブームは、2016年4月に底打ちし、2018年10月にピークを付けた。
- 今回は、2019年4月に底打ちし、回復から再成長、新しいブームへ。
- 今回の中核テーマは、「5G（第5世代移動通信）」。
- 今回もおそらく過去最大のブームとなろう。

- TSMCが7ナノ、5ナノの大型投資を続行。2019年の設備投資は、当初計画の100憶ドルに対して150憶ドル。2020年はこれを上回りそう。
- （まだ半信半疑な向きが多いが）サムスンが2019年10－12月期からメモリ投資（NAND、DRAM投資）を再開するとしている。対象は韓国と中国の工場。
- インテルのCPU不足が続いている。2019年に続き2020年も増産投資継続か。

- スマートフォンのカメラの高性能化（カメラの多眼化、イメージセンサーの大判化、チップセットに組み込まれたAIの高度化）によって、ソニーのイメージセンサーの高成長が期待される。
- ソニーを大手半導体会社として評価したい。

●今後6～12か月間の目標株価（今3Q決算レポートでの目標株価）

✓レーザーテック：7,800円→13,000円

✓SCREENホールディングス：8,000円→11,000円

✓アドバンテスト：7,700円

✓東京エレクトロン：30,000円

✓ディスコ：30,000円

✓ソニー：7,800円→8,800円